

# 油 軽 LPガス49%混合可 展示試乗セミナー

だるまエナジー(本社  
・東京、古田洋二社長)  
と城東自動車工場(同、  
鈴木啓一社長)は2日、  
東京・北区の王子自動車  
学校で、国の構造改善支  
援事業として今年度、実  
証を進めてきたデュアル  
フューエルトラックの展  
示試乗会と関連セミナー  
を開いた。LPガス業界の関  
や生協など物流業界の関  
係者60人が参加した。  
セミナーで、LPガス  
の混合割合を49%まで高  
スを混ぜて同時に燃焼さ  
せる技術は、船舶や発電  
機のエンジンでは一般  
的。自動車用の事例は国  
内でも過去にあったが、  
技術が進化した最新のデ  
イゼルトラックに使わ  
れた例はないという。  
開発・実証に利用した  
のは小型トラック、三菱  
・キャンターの最新モデ  
ル。LPガス容器と改造  
用部品、制御コンピュー  
ターを取り付け、調整を  
加えながら、シャシータ  
イナモを用いた走行試験



でデータ取得を繰り返すとい  
た。シャシータイナモは  
大手自動車メーカーや国  
が燃費測定に使うもの。  
時速80km/h(4速)、走  
行距離10kmなどの条件  
下で、LPガス混合割合  
LPガス容器追加による

展示試乗会で  
は駆動部など  
も公開した

49・1%を実  
現した。  
混合割合は  
走行条件で変  
わるが、仮に  
軽油の5割を  
LPガスに置  
換できると、  
燃料費を15%  
ほど削減でき  
るとい

航続距離の延長、自動車  
燃料の多様化などを訴求

ポイントに、トラックユ  
ーザーや容器配送を行う  
LPガス業界などに周知  
する構えだ。  
だるまエナジーらはL  
Pガス業界と連携して技  
術開発を進めたい考え。  
5割混合で、商用車シャ  
シールで燃料革新を図りた  
いとの思いを込めて「ハ  
イパーLPGトラック」  
と命名。オートガス需要  
増を目指し、実証試験や  
普及モデルを通じ業界に

びと協力を呼びかける。  
古田社長は「世界のデ  
イゼル需要は年間13億  
トンの一部を転換する  
だけでLPガス需要は大  
きく伸びると展望する。